

<別紙> 情報提供様式

①事例名																	
教頭マネジメント支援員を活用した働き方改革について																	
②学校名																	
愛荘町立秦荘東小学校	連絡先0749-37-2004																
③取組分野(複数選択可)																	
<input checked="" type="checkbox"/> 副校長・教頭の負担軽減に関する取組 (学校経営骨太モデル事業、副校長・教頭マネジメント支援員の活用等)																	
④直面していた課題(取組前の様子)																	
<p>本校は、令和7年度から研究開発校として新教育課程の実践と、令和6年度から県の幼小連携事業「学びに向かう力」(2年目)にも取り組んでいる。そのため、通常の事務処理に加え、その他の業務が増えた。また、クラス数減による教職員数の減少により、教科指導も担当しているため、教頭の超過勤務時間の短縮が図れず、月の時間外勤務は80時間超が続く状況だった。</p>																	
⑤在校等時間の縮減に向けた具体的な取組内容	⑥参考となる写真や資料を添付																
<p>・教頭マネジメント支援員1名配置 業務を下記の通りとし、教頭の業務を減らした。</p> <p>① 施設の戸締まり ② 学校施設の貸し出し業務 ③ 行事や学習参観日の保護者案内 ④ 担任不在時(年休・出張等)の補欠授業への支援</p> <p><u>取組のポイント</u></p> <p>・教頭経験のない支援員であるため、事務的業務(教頭業務としての資料や提出物等の作成)以外の業務を洗い出した。 ・報連相の徹底に努め、業務が滞ることのない体制づくりに努めた。</p>	<p>◆<u>時間外労働時間の前年度比較</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月:101時間</td> <td>6月:110時間</td> </tr> <tr> <td>7月:70時間</td> <td>7月:73時間</td> </tr> <tr> <td>9月:88時間</td> <td>9月:72時間</td> </tr> <tr> <td>10月:95時間</td> <td>10月:86時間</td> </tr> <tr> <td>11月:95時間</td> <td>11月:84時間</td> </tr> <tr> <td>12月:67時間</td> <td>12月:75時間</td> </tr> <tr> <td>1月:66時間</td> <td>1月:69時間</td> </tr> </tbody> </table>	R6年度	R7年度	6月:101時間	6月:110時間	7月:70時間	7月:73時間	9月:88時間	9月:72時間	10月:95時間	10月:86時間	11月:95時間	11月:84時間	12月:67時間	12月:75時間	1月:66時間	1月:69時間
R6年度	R7年度																
6月:101時間	6月:110時間																
7月:70時間	7月:73時間																
9月:88時間	9月:72時間																
10月:95時間	10月:86時間																
11月:95時間	11月:84時間																
12月:67時間	12月:75時間																
1月:66時間	1月:69時間																
⑦取組の成果																	
<p>・教頭マネジメントに仕事を回すことで、他の業務に時間を使うことができるようになった。</p> <p><u>成果のポイント</u></p> <p>・教頭でなくてもできる業務を見直すこと</p>																	